

第一線から

## “我们学校”と“我们大学”について

顧明耀

### 調査の目的

日本の中国語教材や中国語のドリル、中国語の試験問題には、“我们大学有很多留学生”“今天我不去大学”のような表現が見られるが、私にはこれらは自然な中国語ではないと感じられる。数年前、この場合は“我们学校有很多留学生”“今天我不去学校”とすべきだと指摘した拙文を『中国語の輪』に掲載していただいた。しかし、すでに10年近くたったものの、愚見への反論も見られなければ、採用もされていないようである。さらに、この不自然と思われる“我们大学”や“去大学”のような表現は、依然として至るところで用いられている。

私自身の感覚がもともと間違っているのか、それとも私の言葉遣いが古臭くて時代遅れになったせいなのかを知りたいと思うとともに、中国語ネイティブはどのように言っているのか、両方とも使うのであれば、話し手はどういうつもりで使い分けていて、聞き手はどのように聞き取っているか、ということも知りたいと思った。上記の点を明らかにしたい、少なくともある程度はつきりさせようと、2014年4月中旬にこの調査を行った。

### 調査の実施

#### 1 調査対象と調査内容

- (1) 中国国内大学在学中の中国語母語者である大学生（一部大学院生を含む。以下は中国国内大学生等と称する）

- (2) 日本留学中の中国語母語者である大学生（一部大学院生、研修生を含む。主に中国大陸からだが、一部台湾からの学生を含む。以下は留日大学生等と称する）
  - (3) 大学教師（主に外国人を対象に中国語を教えている教師と日本語を教えている教師、一部ほかの学科の教師と出版社の編集者。以下は大学教師等と称する）
- (1) と (2) は実際の使用状況を、(3) は使用実態のほか、このことについての見方も、調査内容に含める。

## 2 調査方法

- (1) 調査対象をできるだけ多くするために、大学生等を調査対象にする場合、投票用紙（A 我们学校 B 我们大学 C どちらも言える 三者の中から一つ選んでもらう）記入の形か、インタビューの形をとる。どの形をとるにしても、使用実態だけに絞って、語義やニュアンスの差異、この選択肢の選択理由などはいっさい不問にした。ただし、日本での実施の大半は、大学教師等用のアンケートを使用したため、全部ではないが、一部コメントも見られる。
- (2) 大学教師等を調査対象にする場合、アンケート用紙を使用した。
- (3) アンケートは、中国語で書いたものだが、日本語訳を文末に添付した。

## 調査結果

### 1 中国国内大学生等 計286人

- (1) 西安交通大学（調査実施者：張含煙）

調査実施時間 2014年4月16日

調査実施場所 西安交通大学校内（自習室や校庭で、ランダムに）

調査人数 53人

調査方式 インタビュー

調査結果 “我们学校” という人 47人(大学生28人、大学院生19人)

“我们大学” という人 6人(全員大学生)

- (2) 西安交通大学城市学院（調査実施者：薛嬌）

“我们学校”と“我们大学”について

調査実施時間	2014年4月中旬
調査実施場所	西安交通大学城市学院内
調査人数	投票用紙配布213 回収有効202 (全員大学生)
調査方式	投票用紙記入
調査結果	“我们学校”と言う人 193人 “我们大学”と言う人 3人 両方とも言う人 6人

(3) 西安外国語大学 (調査実施者：王敏)

調査実施時間	2014年4月18日
調査実施場所	西安外国語大学校内 (寮、自習室や校庭で、ランダムに)
調査人数	31人 (大学生8人、大学院生23人)
調査方式	インタビュー
調査結果	“我们学校”と言う人 31人

合計 3大学調査人数 286人。“我们学校”と言う人は271人、“我们大学”と言う人は9人、両方とも言う人は6人。つまり、中国国内の大学生等の約95%は日常生活では“我们学校”を使っている。

## 2 在日中国人留学生

(1) 天理大学 (協力者：中川裕三教授)

調査人数	20人
調査結果	“我们学校”と言う人 14人 “我们大学”と言う人 2人 両方とも言う人 4人
コメント	“我们学校”は「優しい」「親近感を覚える」と、“我们大学”は「見せびらかす」との感じが与えられるというコメントをする人がいた。

(2) 愛知大学 (協力者：梅田康子教授)

調査人数	51人
調査結果	“我们学校”と言う人 37人 “我们大学”と言う人 7人

両方とも言う人 7人

コメント 多くの人は二つの言い方は全く同じで、どれを使っても構わないと主張する。語義やニュアンスの面で差異があると思う人は少ない。一部の人は“我们大学”は「見せびらかす」という感じが与えられると思う。

(3) 北九州市立大学（協力者：王占華教授）

調査人数 5人

調査結果 “我们学校”と言う人 4人

両方とも言う人 1人

コメント A “我们大学”と言う言い方はあまりにも硬すぎるから、使う人は非常に少ない。  
B 自分の大学を宣伝したり大学のことを目立たせたりする人こそ、“我们大学”という言い方をとる。  
C 両方とも言う人は、聞き手によって違う言い方をとる。聞き手は大学（あるいはそれ以上）の学歴を持ってなかったり、自分より学歴が低かったりする場合、あるいは大学のことを目立たせる必要がまったくない場合、“我们学校”という言い方をとる。さもなければ聞き手に恥ずかしい思いをさせる恐れがある。

(4) 愛知県立大学（協力者：中西千香准教授）

調査人数 3人

調査結果 “我们学校”と言う人 2人

両方とも言う人 1人

コメント “我们大学”という言い方をとれば、大学のことを強調し改まった言い方になる。

(5) 共立女子大学（協力者：李錚強教授）

調査人数 3人

調査結果 “我们学校”と言う人 2人

両方とも言う人 1人

“我们学校”と“我们大学”について

(6) ある専門学校（協力者：長江春子さん）

調査人数 7人（大学や大学院に進学予定のもの）

調査結果 “我们学校”と言う人 2人

両方とも言う人 1人

コメント “我们大学”という言い方は、聞いて気持ち良くない。

合計 5大学・1専門学校調査人数89人。“我们学校”と言う人は66人、“我们大学”と言う人は9人、両方とも言う人は14人。

3 大学教師等 回収アンケートは33人（内29人は直接私顧宛のもの）

(1) “我们学校”と言う人 29人

日本滞在歴のある人21人（55歳以上7人、40～54歳7人、39歳以下7人）

日本滞在歴のない人7人（55歳以上2人、40～54歳4人、39歳以下1人）

日本永住者 1人（40～54歳）

この29人のうち、一人だけが日常で“我们学校”を使用しているが、“我们大学”とは大した差異がないと理解している。多数の人は、“我们大学”と言われても、意味的には全く通じるのだがやや不自然な気がするという意見である。一部の人は、二者に語義にもニュアンスにも差異があるとはっきり指摘している。実は不自然な気がするということも、語義またはニュアンスにおいて、二者の違いによるものにほかならない。

二者の語義上、ニュアンス上の差異については、回答者はそれぞれ違う角度から論じてきた。ここで分類して、簡単にまとめてみる。

語義から見れば、“学校”は“大学”の上位概念で、“我们学校”と言う場合、学校の等級や種類とは関わらない。一方“大学”は“学校”の下位概念なので“学校”の等級、種類を目立たせる役を果たすのも言うまでもない。当然ながら小学校、中高校とは違うということを強調するニュアンスを持っている。小学校、中高校と比べて言う場合、もちろん“我们大学”と言うべきで、“我们学校”と言ってはいけない。この時の“大学”は、概して高等教育機関の大学を指しており、話者在学中の特定の某大学を指してはいないであろう。

コミュニケーション効果、聞き手の感じから見れば、「我们大学」と言っ

たらわざとらしくしたり、見せびらかしたりするように聞こえる。「大学のことを強調しすぎて、高いところから見下ろす振りをして、見せびらかするような感じがするだろう。周りの人は大学に入っていないかもしれないから」とのコメントがあった。

文体から見れば、“我们大学”という言い方は改まったように聞こえて、書き言葉に近い。一方、“我们学校”という言い方は話し言葉の感じがして、親近感のある言い方と感じるのだとの意見である。

言語接触から見れば、「中国人は、普通“我们学校”と言っている。これに対して中国語を習っている外国人はよく“我们大学”と言っている」というコメント、また、「日本語を勉強している中国人は、日本語ではよく「私たちの学校」とか「学校へ行きます」とか言うのだが、中国語を勉強している日本人は、中国語ではよく“我们大学”とか“去大学”とか言う。どちらも母語の影響を捨て去っていない表れである」というコメントがある。今回の調査で収集したデータから見てもわかるように、中国国内在学の大学生、大学院生は、基本的に“我们学校”という言い方をとっているが、長く日本語や英語に接している人たちでは、“我们大学”と言っている人がある程度のパーセンテージを占めているのである。

音声から見れば、「我们学校」は言いやすい。口語では早い話速で言う場合、“们”を「m」しか言わず、“学”も「x」しか言わないのだが、“我们大学”ならこのような連続発声による単音脱落は発生しないから、“我们学校”のような親近感も出てこない」という意見もある。

北京大学中国語学研究所のwebサイト([http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl\\_corpus/index.jsp?dir=xiandai](http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai))を利用して両者の使用頻度を調べた報告もある。「検索したところ、“我们学校”の実例は278項目で、“我们大学”の実例は47項目しかない。まして、この47項目の中には、“我们大学生”“我们大学校园”“我们大学教授”“我们大学毕业了”“我们大学的同班同学”“我们大学基础课”など、ここでいう“我们大学”とは違う項目も含まれている。“我们学校”と比較して研究するには、まずこれらのものを除外しなければならない」という内容であった。この教唆に従って、北京大学中国語

言学研究センターの“CCL 语料库现代汉语部分”の47項目の実例を検討してみた。私たちの分析によれば、この47例のうち、ここでいう“我们学校”と対応して比較できるものは7項目しかない。後の40項目の“大学”は、どれも話し手が指しているのは特定の大学ではない。違う構造を持っているもの（例えば、“我们大学生”“我们大学毕业生”“我们大学的同班同学”など17例は、“我们”と“大学生”“大学毕业生”“大学的同班同学”などと同格関係になる。“我们大学毕业”など3例は、“我们”と“大学毕业”などと主述関係になる）であったり“我们大学”を通して話し手の立場、違う業界でも小中高校でもない、いわゆる“大学”（いわば、特定ではなくて一般にいう大学）であったりする。そして「大学時代」を指す“大学”の実例も3例ある。

何人かの教師は、“我们+学校名”（例えば“我们北京大学”“我们交大”“我们上外”など）の言い方の使用頻度は“我们大学”よりずっと多いものの、場合によっては自慢げである、ないしは傲慢な表現と思われやすい、という点を指摘している。

(2) “我们大学”と言う人 1人

長年外国で外国人のための中国語教育を行っている先生の答えである。

(3) 両方言えると思う人 3人

その中のAさんは20年近く日本に在住し、すでに日本国籍を取っているものであり、Bさんは30年近く日本に在住し、日本人の配偶者であって、Cさんは20年以上日本に在住しているが毎年二、三回中国に短期帰国をするものである。

Aさんの主張は「普通、“我们大学”と言っているが“我们学校”と言う場合もある。両者同義なので、無作為で言ってしまう。どちらも通じるからどれを使っても構わない。小中高校を指す場合、もちろん“我们学校”と言うが、大学も学校の一つだから、大学を指す場合、“我们学校”“我们大学”どちらの言い方をとって構わない」である。

BさんとCさんは、インターアクションの原則は相手のことを尊重することなので、相手が“学校”を使っているなら基本的に“学校”を使用すべき

で、相手が“大学”を使っているなら基本的に“大学”を使用すべきだと主張する。

## 結 論

- 1 自分が在学している（していた）大学を言う時、ほとんどの中国人は“我们学校”の言い方をとり、“我们大学”の言い方はとらない。このことは、学歴、年齢、性別などによって変わることはない。
- 2 日本語の影響を受けるほど、“我们大学”の言い方をとりがちになる。この傾向は、年配の人より若者の方により強くなっている。
- 3 “我们学校”の言い方をとる人の半分以上は、相手の“我们大学”という言い方にマイナスイメージを持ち、少なくとも不自然、気持ちがよくないなどの抵抗感がある。
- 4 外国人のための中国語教育を行う場合、学習者に対し、自分が在学している（していた）大学を言う時、“我们大学”ではなく、“我们学校”の言い方のほうがよいとはっきり教えることを提案したい。  
また、中国語の教材、ドリル、試験問題等を作成する時には、“我们学校”とするのが無難である。
- 5 その他の学校（例えば小中高校、専門学校など）、ほかの業界と比べて言う“我们大学”、特定でなく総括して指している“我们大学”や、「私たちの大学時代」という意味で使う“我们大学”などは、ここで論じる範囲外とする。

## 附 アンケート用紙

問1 人に自分が在学している（していた）大学を言う時、日常会話では、普段どういいますか。次の選択肢から1つ選んでください。

- A 我们学校      B 我们大学      C 両方とも

問2

2-1（問1のAあるいはBを選んだ方に答えてもらいます）

あなたはA（あるいはB）で言うが、相手の言ったB（あるいはA）を聞いたらどう



“我们学校”と“我们大学”について

いう感じがしますか。

- A どちらもわかるから気にしない。
- B わかることはわかるが、すこし不自然に思う。
- C 両者は語義は同じだが、ニュアンスは違う。  
なお、Cを選んだ方には、ニュアンスの違いについて、ご自分の感じを書いてもらいます。

2-2 (問1のCを選んだ方に答えてもらいます)

- A 両者同義なので、無作為に使用する。
- B 両者は語義が同じだが、ニュアンスは違う。
- C 両者の意味は違うところがある。  
なお、B、Cを選んだ方には、ご自分の感じ、あるいはご理解の意味を書いてもらいます。

このことについて、何かご連想、お考え、ご高見があれば、あわせて書いてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

顧明耀 Gu Mingyao 愛知大学中日大辞典編纂所研究員、西安交通大学教授、県立広島女子大学名誉教授 専門：対照言語学（日中）、辞書学  
E-mail: gumingyaoxian@163.com